
第5回 日野町議会定例会会議録（第4日）

令和5年9月28日（木曜日）

議事日程

令和5年9月28日 午前10時開議

- 日程第1 委員会付託事件の審査報告
陳情第6号 地方財政の充実・強化を求める陳情（総務経済常任委員会）
- 日程第2 議案第61号 令和4年度日野町一般会計歳入歳出決算認定について（町長）
- 日程第3 議案第62号 令和4年度日野町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について（町長）
- 日程第4 議案第63号 令和4年度日野町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について（町長）
- 日程第5 議案第64号 令和4年度日野町後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算認定について（町長）
- 日程第6 議案第65号 令和4年度日野町簡易水道特別会計歳入歳出決算認定について（町長）
- 日程第7 議案第66号 令和4年度日野町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について（町長）
- 日程第8 議案第67号 令和4年度日野町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について（町長）
- 日程第9 意見書第3号 地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について（議員）
- 日程第10 意見書第4号 水田活用の直接支払交付金の見直しに関する意見書の提出について（議員）
- 日程第11 議員派遣の件
- 日程第12 閉会中の継続調査の申し出

本日の会議に付した事件

- 日程第1 委員会付託事件の審査報告
陳情第6号 地方財政の充実・強化を求める陳情（総務経済常任委員会）
- 日程第2 議案第61号 令和4年度日野町一般会計歳入歳出決算認定について（町長）
- 日程第3 議案第62号 令和4年度日野町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

(町長)

- 日程第4 議案第63号 令和4年度日野町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について (町長)
- 日程第5 議案第64号 令和4年度日野町後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算認定について (町長)
- 日程第6 議案第65号 令和4年度日野町簡易水道特別会計歳入歳出決算認定について (町長)
- 日程第7 議案第66号 令和4年度日野町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について (町長)
- 日程第8 議案第67号 令和4年度日野町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について (町長)
- 日程第9 意見書第3号 地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について (議員)
- 日程第10 意見書第4号 水田活用の直接支払交付金の見直しに関する意見書の提出について (議員)
- 日程第11 議員派遣の件
- 日程第12 閉会中の継続調査の申し出

出席議員 (10名)

1番 小林良泰	2番 小河久人
3番 坪倉敏	4番 中山法貴
5番 梅林智子	6番 金川守仁
7番 松本利秋	8番 安達幸博
9番 竹永明文	10番 中原信男

欠席議員 (なし)

欠員 (なし)

事務局出席職員職氏名

局長 _____ 中田早文 書記 _____ 吉川理恵
書記 _____ 三好達也

説明のため出席した者の職氏名

町長	—————	埴田淳一	副町長	—————	音田守
教育長	—————	生田求	総務課長	—————	景山政之
住民課長兼会計管理者	——	荒木憲男	企画政策課長	—————	神崎猛
健康福祉課長	—————	住田秀樹	産業振興課長	—————	五百川和久
建設水道課長	—————	音田雄一郎	教育課長	—————	遠藤律子
代表監査委員	—————	長谷部正人			

午前10時00分開議

○議長（中原 信男君） おはようございます。

ただいまの出席議員数は10人であり、定足数に達していますので、これより令和5年第5回日野町議会定例会4日目を開会いたします。

なお、例規の確認のため、出席議員のタブレット端末機の使用を許可をしております。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付いたしました日程のとおりであります。

日程第1 委員会付託事件の審査報告

○議長（中原 信男君） 日程第1、委員会付託事件の審査報告を議題といたします。

陳情第6号、地方財政の充実・強化を求める陳情について、委員長の審査報告を求めます。

8番、安達幸博総務経済常任委員長。

○総務経済常任委員会委員長（安達 幸博君） 陳情審査報告書。審査の結果、1、採択とすべきもの。(1) 件名、地方財政の充実・強化を求める陳情（受第6号、令和5年8月15日、自治労鳥取県本部執行委員長、山口一樹、日野町職員労働組合執行委員長、小谷勉）。(2) 理由、全ての住民に身近な地方自治体が担う役割は年々拡大しております。とりわけ昨今は、新型コロナウイルス対策として、財政規模に見合う以上の支出を求められています。したがって、それらに見合う地方交付税、その他の財源の確保はますます重要になってきており、採択としました。

なお、本陳情の採択に当たり、本委員会より以下のことを申し添えておきます。

新型コロナウイルスへの対策に巨額の財政出動がなされております。その結果、今後、地方交付税その他の地方への財源に関しては厳しい事態になることが想定されます。一方で、デジタルガバメント化による自治体業務システムの標準化が迫っており、新たな財源が必要となります。

本町執行部におきましても、常に新しい財源情報にアンテナを張り巡らして的確に把握し、できる限り有利な財源を確保されることに努められるよう要請します。

本委員会は、上記のとおり決定したので報告します。

令和5年9月28日。総務経済常任委員会委員長、安達幸博。日野町議会議長、中原信男様。

○議長（中原 信男君） 審査報告が終わりましたので、これより質疑を行います。質疑ありませんか。

〔質疑なし〕

○議長（中原 信男君） 質疑がないようですので、質疑を終わります。
これより討論を行います。

〔討論なし〕

○議長（中原 信男君） 討論がないようですので、討論を終わります。

これより、陳情第6号、地方財政の充実・強化を求める陳情についての採決を行います。

この採決は、起立によって行います。

お諮りいたします。本件は、委員会報告のとおり採択することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（中原 信男君） 起立多数。よって、陳情第6号は、採択と決定いたしました。

日程第2 議案第61号 から 日程第8 議案第67号

○議長（中原 信男君） 日程第2、議案第61号、令和4年度日野町一般会計歳入歳出決算認定についてから、日程第8、議案第67号、令和4年度日野町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定についてまでの7議案を一括議題といたします。

一括議題とすることに異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中原 信男君） 異議がないようですので、一括議題といたします。

各議案につきましては、決算審査特別委員会に審査を付託してありますので、委員会における審査報告を求めます。

7番、松本利秋決算審査特別委員会委員長。

○決算審査特別委員会委員長（松本 利秋君） 決算報告を申し上げます。

決算審査報告書

1 審査事件

令和4年度日野町歳入歳出決算認定について

2 審査対象

- (1) 令和4年度日野町一般会計歳入歳出決算
- (2) 令和4年度日野町国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- (3) 令和4年度日野町介護保険特別会計歳入歳出決算
- (4) 令和4年度日野町後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算
- (5) 令和4年度日野町簡易水道特別会計歳入歳出決算
- (6) 令和4年度日野町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算
- (7) 令和4年度日野町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算

3 委員会の開催状況

令和5年9月8日、13日、19日、20日、25日、26日の6日間

4 審査結果

(1) 結果

賛成多数で認定すべきものと決定した。

(2) 理由

一般会計及び6特別会計の決算について、提出された関係書類を基に審査を実施した。審査にあたっては、担当課からの聞き取り、また、必要に応じて資料の提出も求め審査した。その結果、一般会計決算書、特別会計決算書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書の計数は正確であり、予算執行も適正に行われているものと認められた。

5 会計ごとの所見

(1) 一般会計

決算では、翌年度へ繰越すべき財源13,543,000円を除いた実質収支が181,904,498円の黒字となっている。

①歳入に関する事項

調定額4,921,668,400円に対し、収入済額4,845,964,864円で収納率は98.46%である。

収入未済額は75,703,536円で、前年度と比較して2,733,500円減少している。

未納額の内訳を見ると、町税（町民税、固定資産税）が13,798,798円、住宅使

用料2, 883, 013円、住宅新築資金等貸付金47, 514, 975円、災害援護資金貸付金11, 326, 750円などとなっている。

住宅新築資金等貸付金、災害援護資金貸付金の未納額は年々減少しているものの、多額である。

また、個人町民税・固定資産税においては、前年度より滞納者が増加している。

今後も町長以下職員が一丸となって、未納者個々の実態把握と新規滞納者が出ないように、細心の対策を講じながら未納額の徴収に努められたい。

②歳出に関する事項

歳出では、事業の執行状況、効果等について審査を実施した。

主な事業としては、義務教育学校建設事業、生活交通確保対策事業、地籍調査事業、日野町くらし応援商品券事業、日野病院組合他一部事務組合負担金、起債約定償還、基金積立などが挙げられる。

また、林業再生事業、橋梁修繕事業など10事業が4年度から5年度に繰越されている。

決算では、予算現額5, 033, 716, 000円に対し、支出済額は4, 650, 517, 366円、翌年度繰越額87, 010, 000円で、翌年度繰越額を予算現額から除いた執行率は94. 01%であった。

不用額は296, 188, 634円で翌年度へ繰り越すべき財源を除いても多額であり、引き続き予算の査定段階から十分精査されるとともに、事業費が確定した段階で減額補正をするなどの対応をされたい。

また、事業実施に当たっては、補助金等財源の確保に努めるとともに、執行にあたっては最小の経費で最大の効果が得られるようさらに工夫されたい。

③財産に関する事項

財産に関する調書及び定額運用基金の運用状況についても正確と認められる。

しかし、基金総額は年々増加しており、基金の活用についても検討されたい。また、近年活用実績もなく積み立てもされていない地域福祉基金、地域振興基金、建設機械整備基金などは基金の目的を再度検証されたい。

(2) 特別会計

①国民健康保険特別会計

決算での実質収支は7, 835, 999円で黒字となっている。

歳入の状況は、調定額379, 942, 184円に対し、収入済額は359, 399, 0

30円、収入未済額は19,745,364円、収納率は94.59%となっている。国民健康保険税については、滞納者は減少しているものの不納欠損処分を行っている。また、収入未済額も多額であるので徴収についてさらなる努力をされたい。

歳出の状況は、支出済額351,563,031円、不用額68,924,969円で、執行率は83.61%となっている。給付費の動向で不用額が発生するのは致し方ないが留意されたい。

今後も健康管理に対する意識の高揚と検診受診の普及を図られたい。また、国民健康保険財政調整基金の現在高は、年々増加しているため、基金残高にも注視されたい。

②介護保険特別会計

決算での実質収支は54,226,954円で黒字となっている。

歳入の状況は、調定額619,971,114円に対し、収入済額619,904,014円、収入未済額67,100円、収納率は99.99%となっている。新規滞納者が発生しているため早期徴収に努められたい。

歳出の状況は、支出済額565,677,060円、不用額126,032,940円で、執行率は81.78%となっている。給付費の動向で不用額が発生するのは致し方ないが留意されたい。

引き続き、いきいき百歳体操など介護予防の取り組みを推進するとともに給付費の抑制を図られたい。また、介護給付費準備基金の現在高は、年々増加しているため考慮されたい。

③後期高齢者医療保険特別会計

決算での実質収支は124,200円で黒字となっている。

歳入の状況は、調定額56,836,297円に対し、収入済額56,761,297円、収入未済額75,000円、収納率は99.87%となっている。新規滞納者が発生しているため早期徴収に努められたい。

歳出の状況は、支出済額56,637,097円、不用額1,980,903円で、執行率96.62%となっている。引き続き適正な事務処理に努められたい。

④簡易水道特別会計

決算の状況は、必要額を一般会計から繰り入れしているため、実質収支は0円である。

歳入の状況は、調定額77,327,327円、収入済額76,918,677円、収納率99.47%となっている。収入未済額は408,650円と昨年より減少しているが引き続き徴収に努められたい。

歳出の状況は、支出済額76,904,677円、翌年度繰越額1,714,000円、不用額1,511,323円で、執行率98.07%となっている。

今後も生活の向上を図るため、適正な維持管理に努められたい。

⑤公共下水道事業特別会計

決算の状況は、必要額を一般会計から繰り入れしているため、実質収支は0円である。

歳入の状況は、調定額94,753,410円、収入済額94,660,470円、収納率99.90%となっている。収入未済額は92,940円と昨年より減少しているが引き続き徴収に努められたい。

歳出の状況は、支出済額94,603,470円、翌年度繰越額857,000円、不用額1,707,530円、執行率98.23%となっている。

今後も生活の向上を図るため、加入促進と適正な維持管理に努められたい。

⑥農業集落排水事業特別会計

決算の状況は、必要額を一般会計から繰り入れしているため、実質収支は0円である。

歳入の状況は、調定額44,085,231円、収入済額44,035,371円、収納率99.89%となっている。収入未済額は49,860円と昨年度と同額であり、徴収方法を検討されたい。

歳出の状況は、支出済額43,978,371円、翌年度繰越額857,000円、不用額2,829,629円で、執行率93.95%となっている。

今後も町民生活の向上を図るため、適正な維持管理に努められたい。

6 地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項の規定による財政健全化判断比率について

4指標の内、実質赤字比率、連結実質赤字比率は、いずれの会計も実質収支が黒字となっているため問題はなく、将来負担比率は、基金の積み立ての増加などにより、マイナス数値となっており問題はない。

実質公債費比率についても、早期健全化基準の25.0%を下回る6.9%となっている。

しかし、地方交付税に依存している本町は、国内の経済情勢により大きく左右されるため、より一層の創意工夫と危機感をもって予算執行にあたられたい。

また、過疎債を中心とした起債の借入が年々増加している。実質公債費比率等にも影響するので、基金の活用も視野に入れ、借入については十分検討されたい。

本委員会において、上記のとおり決定したので報告します。

令和5年9月28日

決算審査特別委員会

委員長 松本利秋

日野町議会議長 中原信男様

○議長（中原 信男君） 審査報告が終わりましたので、これより委員会報告に対する質疑を行います。質疑ありませんか。

〔質疑なし〕

○議長（中原 信男君） 質疑がないようですので、質疑を終わります。

これより討論、採決を行います。この討論、採決は、議案番号順に行います。

日程第2、議案第61号、令和4年度日野町一般会計歳入歳出決算認定についての討論を行います。

最初に、委員会報告に反対の討論を行います。

2番、小河久人議員。

マイク。

○議員（2番 小河 久人君） 私は、この議案第61号の令和4年度日野町一般会計歳入歳出決算認定に当たって、不認定の討論を行います。

同和行政の年間2,000万円近くの予算計上し行ってきたことは、日本共産党としては反対してきており、この決算には同意できません。公正・民主的な同和行政を一日も早く実現し解決することを願うのは、町民全体の願いです。決算には部分的に改善すべき点もありますが、そうした町民の願いから考え、振り返ると、一般会計に大きな影響を与えております。したがって、私は公正、平等な政治の流れをつくり、同和行政の終結を心から願う立場から、容認できるものではありません。よって、不認定といたします。以上です。

○議長（中原 信男君） 次に、委員会報告に賛成の討論を行います。

6番、金川守仁議員。

○議員（6番 金川 守仁君） 令和4年度日野町一般会計歳入歳出決算認定について、賛成の立場で賛成討論をさせていただきます。

全体評価基準を示す財政健全化判断比率は、基準値を25%とされていますが、我が町は大きく下回り、6.9%と示されております。実質赤字比率、連結実質赤字比率にあっては黒字であり、将来負担率も資金積立てなどによりマイナス指数であることで、良好であると認められます。

また、新型コロナ感染対策、国及び県補助政策に的確に取り組み、各事業が積極的に実施、展開され、住民の安全安心に十分寄与できていると考えます。特に、ガソリン、灯油、ガスなどの燃料高騰に伴い、物価高に対する購入費用補助事業の対応をはじめ、子育て支援などについても素早い企画と対応が実施されております。また、中山間地の買物福祉サービス事業は、ささえ愛コンビニ・プロジェクトとして新たな展開が構築され、買物支援はもとより、高齢者の見守り事業も併せて積極的な展開が確実に実施されているところです。町民の足である公共交通の実態も、日南町、江府町との協力体制を確立し進み、町民の皆様が町内移動はもとより、他町への移動についても多くの利用をされていることも確認されております。

以上の観点から、令和4年度決算認定につきまして、賛成の討論とさせていただきます。以上。

○議長（中原 信男君） ほかに討論ありませんか。

〔討論なし〕

○議長（中原 信男君） 討論がないようですので、以上で討論を終わります。

これより、日程第2、議案第61号、令和4年度日野町一般会計歳入歳出決算認定についての採決を行います。

この採決は、起立によって行います。

お諮りいたします。本案は、委員会報告のとおり認定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（中原 信男君） 起立多数。よって、議案第61号は、認定されました。

次に、日程第3、議案第62号、令和4年度日野町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定についての討論を行います。討論ありませんか。

〔討論なし〕

○議長（中原 信男君） 討論がないようですので、討論を終わります。

これより、日程第3、議案第62号、令和4年度日野町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定についての採決を行います。

この採決は、起立によって行います。

お諮りいたします。本案は、委員会報告のとおり認定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（中原 信男君） 起立多数。よって、議案第62号は、認定されました。

次に、日程第4、議案第63号、令和4年度日野町介護保険特別会計歳入歳出決算認定についての討論を行います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中原 信男君） 討論がないようですので、討論を終わります。

これより、日程第4、議案第63号、令和4年度日野町介護保険特別会計歳入歳出決算認定についての採決を行います。

この採決は、起立によって行います。

お諮りいたします。本案は、委員会報告のとおり認定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（中原 信男君） 起立多数。よって、議案第63号は、認定されました。

次に、日程第5、議案第64号、令和4年度日野町後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算認定についての討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中原 信男君） 討論がないようですので、討論を終わります。

これより、日程第5、議案第64号、令和4年度日野町後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算認定についての採決を行います。

この採決は、起立によって行います。

お諮りいたします。本案は、委員会報告のとおり認定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（中原 信男君） 起立多数。よって、議案第64号は、認定されました。

次に、日程第6、議案第65号、令和4年度日野町簡易水道特別会計歳入歳出決算認定についての討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中原 信男君） 討論がないようですので、討論を終わります。

これより、日程第6、議案第65号、令和4年度日野町簡易水道特別会計歳入歳出決算認定についての採決を行います。

この採決は、起立によって行います。

お諮りいたします。本案は、委員会報告のとおり認定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（中原 信男君） 起立多数。よって、議案第65号は、認定されました。

次に、日程第7、議案第66号、令和4年度日野町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定についての討論を行います。

[討論なし]

○議長（中原 信男君） 討論がないようですので、討論を終わります。

これより、日程第7、議案第66号、令和4年度日野町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定についての採決を行います。

この採決は、起立によって行います。

お諮りいたします。本案は、委員会報告のとおり認定することに賛成の諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（中原 信男君） 起立多数。よって、議案第66号は、認定されました。

次に、日程第8、議案第67号、令和4年度日野町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定についての討論を行います。

[討論なし]

○議長（中原 信男君） 討論がないようですので、討論を終わります。

これより、日程第8、議案第67号、令和4年度日野町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定についての採決を行います。

この採決は、起立によって行います。

お諮りいたします。本案は、委員会報告のとおり認定することに賛成の諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（中原 信男君） 起立多数。よって、議案第67号は、認定されました。

日程第9 意見書第3号 及び 日程第10 意見書第4号

○議長（中原 信男君） 次に、日程第9、意見書第3号、地方財政の充実・強化を求める意見書の提出についてと日程第10、意見書第4号、水田活用の直接支払交付金の見直しに関する意見書の提出についてを一括議題といたしたいと思えます。

一括議題とすることに異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（中原 信男君） 異議がないようですので、一括議題とし、提出者の説明を求めます。

8番、安達幸博議員。

○議員（8番 安達 幸博君）

意見書第3号

地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について

別紙のとおり、地方財政の充実・強化を求める意見書を提出する。

令和5年9月28日提出

提出者 日野町議会議員 安 達 幸 博

賛成者 日野町議会議員 坪 倉 敏

賛成者 日野町議会議員 中 原 信 男

賛成者 日野町議会議員 金 川 守 仁

賛成者 日野町議会議員 小 林 良 泰

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣、国土交通大臣、デジタル大臣、農林水産大臣、内閣府特命担当大臣（少子化対策 男女共同参画）

地方財政の充実・強化を求める意見書

いま、地方公共団体には、急激な少子・高齢化にともなう、医療・介護など社会保障制度の整備、子育て施策、人口減少下における地域活性化対策はもとより、デジタル化、脱炭素化、物価高騰対策など、極めて多岐にわたる役割が求められています。

しかし、現実には地域公共サービスを担う人員は不足しており、疲弊する職場実態にある中、新型コロナウイルス、また多発する大規模災害への対策も迫られています。これらに対応する地方財政について、政府は「骨太方針2021」において、2021年度の地方一般財源水準を2024年度まで確保するとしています。これをもって増大する行政需要に十分対応し得るのか、大きな不安が残されています。

このため、2024年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、歳入・歳出を的確に見積もり、地方財政の確立をめざすよう、以下の事項の実現を求めます。

記

1. 社会保障の維持・確保、人への投資も含めた地域活性化、デジタル化、脱炭素化、防災・減災、物価高騰対策、地域公共交通の再構築など、増大する地方公共団体の財政需要を的確に把握するとともに、それを支える人件費を重視し、十分な地方一般財源総額の確保をはかること。
2. とりわけ、今後一層求められる子育て対策、また地域医療の確保、介護や生活困窮者の自立支援など、急増する社会保障ニーズが自治体の一般行政経費を圧迫することから、地方単独事業分も含め、十分な社会保障経費の拡充をはかること。とくに、これらの分野を支える人材確

保にむけた自治体の取り組みを十分に支える財政措置を講じること。

3. 地方交付税の法定率を引き上げるなどし、臨時財政対策債に頼らない、より自律的な地方財政の確立に取り組むこと。また、地域間の財源偏在性の是正にむけては、所得税や偏在性がより小さい消費税を対象に国税から地方税への税源移譲を行うなど、より抜本的な改善を行うこと。
4. 引き続きの新型コロナウイルス感染症対策として、5類移行後におけるワクチン接種体制や保健所も含めた医療提供体制について、自治体での混乱が生じることのないよう、十分な財政措置やより速やかな情報提供などを行うこと。
5. 「まち・ひと・しごと創生事業費」の1兆円については、新たに「地方創生推進費」として2023年度も確保されているが、持続可能な地域社会の維持・発展にむけて、より恒久的な財源とすること。
6. 会計年度任用職員制度の運用については、2024年度から可能となる勤勉手当の支給も含め、今後も当該職員の処遇改善や雇用確保が求められることから、引き続き所要額の調査を行うなどし、その財政需要を十分に満たすこと。
7. 特別交付税の配分にあたり、諸手当等の支給水準が国の基準を超えている自治体に対して、その取り扱いを理由とした特別交付税の減額措置を行わないこと。
8. デジタル化における自治体業務システムの標準化については、引き続き「地域デジタル社会推進費」に相当する財源を確保するなど、十分な財源を保障すること。とくに戸籍等への記載事項における「氏名の振り仮名」の追加については、自治体において相当な業務負荷が予想されることから、現場における意見を十分に勘案しながら、必要な経費を国の責任において確保すること。
9. 森林環境譲与税については、より林業需要を見込める自治体への譲与額を増大させるよう、人口による配分を3割とする現行の譲与基準を見直すこと。
10. 人口減少に直面する小規模自治体を支援するため、段階補正を拡充するなど、地方交付税の財源保障機能・財政調整機能の強化をはかること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

令和5年9月28日

鳥取県日野町議会

水田活用の直接支払交付金の見直しに関する意見書の提出について
別紙のとおり、水田活用の直接支払交付金の見直しに関する意見書を提出する。

令和5年9月28日提出

提出者 日野町議会議員 安 達 幸 博

賛成者 日野町議会議員 坪 倉 敏

賛成者 日野町議会議員 中 原 信 男

賛成者 日野町議会議員 金 川 守 仁

賛成者 日野町議会議員 小 林 良 泰

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、農林水産大臣、内閣官房長官

水田活用の直接支払交付金の見直しに関する意見書

我が国における米の消費量は、食生活の多様化や少子高齢化の進行により、年々減少していることに加え、長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、業務用米の消費が落ち込み米価が下落する状況となっている。

このような中、令和4年度の水田活用の直接支払交付金の見直しにおいては、畦畔や用水路がないなど、水張りができない農地は交付対象水田から除外するルールの再徹底や、現場の課題を検証しつつ、今後5年間に一度も水稲作付けが行われない農地は、令和9年度以降、交付対象水田としない方針が示された。

今回の見直しにより、生産現場からは、交付対象から除外される農地が出ることにより、農地の維持が困難となることから、耕作放棄地の増加につながる等の危惧する声が上がっている。

さらに、本町の水田農業を営む生産者の経営にとどまらず、耕畜連携による飼料生産や中山間地域の農地保全を損なう恐れがあるなど、様々な影響が懸念される。

よって、国においては、下記の措置を講ずるよう強く要望する。

記

- 1 将来にわたる安定的な営農や農地の維持が展望できるよう、一律に見直しの制度適用を行わないこと。
- 2 今回の見直しにより、今後5年間で将来的な産地形成の検討を進めていくことになることから、その中で明らかになった様々な課題をしっかりと受け止め、確実に検証を行うとともに、生産現場の実情を十分踏まえた上で必要な支援を行うこと。
- 3 農地及び集落の維持のため、交付対象水田を畑地化し、土地利用型の営農形態となっても生

産者の所得が減少することなく、意欲を持って生産活動に取り組めるよう、速やかに新たな支援措置を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

令和5年9月28日

鳥取県日野町議会

以上です。

○議長（中原 信男君） 提案説明が終わりましたが、この質疑、討論、採決は意見書の番号順に行います。

これより、日程第9、意見書第3号、地方財政の充実・強化を求める意見書の提出についての質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中原 信男君） 質疑がないようですので、質疑を終わります。

これより討論を行います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中原 信男君） 討論がないようですので、討論を終わります。

これより、日程第9、意見書第3号、地方財政の充実・強化を求める意見書の提出についての採決を行います。

この採決は、起立によって行います。

お諮りいたします。本案は、提案のとおり提出することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（中原 信男君） 起立多数。よって、意見書第3号は、提案のとおり提出することに決定をいたしました。

次に、日程第10、意見書第4号、水田活用の直接支払交付金の見直しに関する意見書の提出についての質疑を行います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中原 信男君） 質疑がないようですので、質疑を終わります。

これより討論を行います。

〔討論なし〕

○議長（中原 信男君） 討論がないようですので、討論を終わります。

これより、日程第10、意見書第4号、水田活用の直接支払交付金の見直しに関する意見書の提出についての採決を行います。

この採決は、起立によって行います。

お諮りいたします。本案は、提案のとおり提出することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（中原 信男君） 起立多数。よって、意見書第4号は、提案のとおり提出することに決定をいたしました。

日程第11 議員派遣の件

○議長（中原 信男君） 日程第11、議員派遣の件を議題といたします。

今後予定されております議員派遣の件については、お手元に配付しております文書のとおりであります。

議員派遣の件については異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中原 信男君） 異議なしと認めます。よって、議員派遣の件は、別紙のとおり決定をいたしました。

日程第12 閉会中の継続調査の申し出

○議長（中原 信男君） 日程第12、閉会中の継続調査の申し出を行います。

総務経済常任委員会委員長、教育民生常任委員会委員長、議会広報常任委員会委員長、議会運営委員会委員長より、調査中の事件について、お手元に配付いたしました申出書のとおり閉会中の継続調査の申出がありました。

お諮りいたします。委員長申出のとおり、閉会中の継続調査とすることに異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中原 信男君） 異議なしと認めます。よって、申出のとおり、閉会中の継続調査とすることに決定をいたしました。

○議長（中原 信男君） 以上で本定例会に付議されました事件は全て終了をいたしました。

よって、会議規則第7条の規定により閉会いたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中原 信男君） 異議なしと認めます。

令和5年第5回日野町議会定例会を閉会いたします。御協力ありがとうございました。終わります。

午前10時54分閉会
